

血液内科

レジメン名称 : 【継続 (2クール目以降)】 Pola+BR療法

レジメン説明 : 対象疾患 : 再発難治性DLBCL

適用条件 : 対象疾患 : 再発難治性DLBCL

除外条件 :

使用する抗がん剤:

RP	手技	薬剤名称	標準値	上限値
03	点滴静注(末梢)	危)リツキシマブ 注BS(100, 500mg)	375mg/m2	450mg/m2
05	点滴静注(末梢)	危) ポラ化 ^レ -点滴静注30mg, 140mg	1.8mg/kg	1.98mg/kg
08	点滴静注(末梢)	ベンダ ^ム スフィン注25mg/1mL「ト-7」	90mg/m2	99mg/m2

RP	手技	薬剤名称	用量/単位	Day1	Day2						
01	点滴静注(末梢)	アセリオ静注液1000mgバッグ ポララミン注 5mg 療法名:【継続 (2クール目以降)】 Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴時間 15分で 投与経路:末梢ルートメイン 1	0.5袋 1A	10:00							
02	点滴静注(末梢)	【ケモ専用】大塚生食注 (50mL 袋) 療法名:【継続 (2クール目以降)】 Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴時間 15分で 投与経路:末梢ルートメイン 1	1瓶	10:15							
03	点滴静注(末梢)	危)リツキシマブ 注BS(100, 500mg) 【自動計算】生理食塩液 療法名:【継続 (2クール目以降)】 Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴速度 50ml/h 投与経路:末梢ルートメイン 1 10倍希釈 (1mg/mL) に調製	0mg 337.5mL	10:30							
04	点滴静注(末梢)	【ケモ専用】大塚生食注 (50mL 袋) 療法名:【継続 (2クール目以降)】 Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴時間 30分で 投与経路:末梢ルートメイン 1	1瓶	13:30							
05	点滴静注(末梢) <次ページあり>	危) ポラ化 ^レ -点滴静注30mg, 140mg	0mg	14:00							

インターバル日数： 21 日

基準日： Day 1

最大クール数：6クール

血液内科

レジメン名称：【継続（2クール目以降）】 Pola+BR療法

RP	手技	薬剤名称	用量/単位	Day1	Day2					
		生理食塩液「ヒカリ」（100mLブ） 療法名：【継続（2クール目以降）】 Pola+BR療法 点滴静注（末梢）： *点滴時間 30分で 投与経路：末梢ルートメイン1 フィルターを通す	1瓶							
06	点滴静注（末梢）	【ケモ専用】大塚生食注（50mL 袋） 療法名：【継続（2クール目以降）】 Pola+BR療法 点滴静注（末梢）： *点滴時間 15分で 投与経路：末梢ルートメイン1	1瓶	14:30						
07	点滴静注（末梢）	グラセトン静注液1mg/10mL「サリ」 デキスト注射液（6.6mg/2mL）[先；デカトシ] 【ケモ専用】大塚生食注（50mL 袋） 療法名：【継続（2クール目以降）】 Pola+BR療法 点滴静注（末梢）： *点滴時間 15分で 投与経路：末梢ルートメイン1	1筒 1瓶 1瓶	14:45	10:00					
08	点滴静注（末梢）	ベンダムスチン注25mg/1mL「トワ」 大塚生食注（250mL） 療法名：【継続（2クール目以降）】 Pola+BR療法 点滴静注（末梢）： *点滴時間 1時間で 投与経路：末梢ルートメイン1	0mg 1袋	15:00	10:15					
09	点滴静注（末梢）	【ケモ専用】大塚生食注（50mL 袋） 療法名：【継続（2クール目以降）】 Pola+BR療法 点滴静注（末梢）： *点滴時間 15分で 投与経路：末梢ルートメイン1	1瓶	16:00	11:15					

RP	オーダーコメント
03	Rフィルター禁 初回投与中・必要時は心電図装着 初回、最初30分は50mL/h、その後30分毎に50mL/hずつ上げ、最大400mL/hまで可。2回目以降、100mL/hで開 <次ページあり>

血液内科

レジメン名称：【継続（2クール目以降）】 Pola+BR療法

RP	オーダーコメント
	<p>始. その後30分毎に100mL/hずつ上げ, 最大400mL/hまで可</p> <p>IRの場合, ①R中断②ヒドロコルゾン100mg+生食50mL点滴③症状改善後, 症状発現の速度より一段点滴速度を下げR点滴再開④再び症状が発現した場合①から③を繰り返す</p> <p>投与後30分以上観察</p>
05	<p>★ポライゼー投与後30分以上、経過観察を行う</p> <p>★ポライゼー初回の忍容性があれば2回目以降点滴時間を30分で可</p>
08	<p>★0.2又は0.22μmインラインフィルターを使用</p> <p>★1時間かけて投与する際は生食250mLを使用。</p> <p>★10分で投与することも可能。</p> <p>【注意点】10分投与の際は、生食50mLに混注して投与を行うこと。生食250mLは×</p> <p>★調製後は、加水分解により急速に安定性が低下するため、6時間以内に投与を終了する。</p>